

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

東陽倉庫株式会社（証券コード:9306）

【据置】

長期発行体格付 B B B
格付の見通し 安定的

■格付事由

- (1) 中部圏及び関東圏を中心に事業を展開する総合物流企業。倉庫業、陸上運送業、港湾運送業などの物流事業に加え、倉庫跡地を活用した不動産賃貸事業を営む。物流事業は多国籍企業を筆頭に、食品、化学メーカーなどの優良企業と密接な取引関係を築き、安定した事業基盤を構築している。不動産事業は17年6月の「テラッセ納屋橋」竣工に続き、18年8月には隣接する劇場跡地の一部をホテル事業者へ賃貸するなどにより、従来と比べセグメント利益が増加している。
- (2) 近年、業績は堅調に推移している。物流事業では既存顧客との取引拡大、新規取引先の開拓などにより、倉庫業や陸上運送業などで収益を伸ばしている。また、不動産事業は安定した収益源となっている。人手不足に伴うコストアップなど事業環境は厳しいものの、3PL物流の推進や経費削減などに取り組み、現状の利益水準を維持していくことは可能と考えられる。当面、大規模な倉庫投資は計画されておらず、安定性の高いキャッシュフロー創出力からみて、良好な財務構成が維持されるとみられる。以上を踏まえ、格付を据え置き、見通しは安定的とした。
- (3) 20/3期の営業利益は13億円（前期比6.1%増）と4期連続の増益の計画である。主力の物流事業の業績は、保管料や陸上運送料などの収入増により順調に推移する見込み。また、不動産事業も業績の安定化に寄与している。21/3期の業績についても、主要顧客との取引拡大や不動産事業の着実な利益貢献などから、底堅く推移するとJCRではみている。
- (4) 20/3期第2四半期末の自己資本比率は46.5%（19/3期末46.2%）となっており、大幅な変動はみられない。倉庫関連の設備投資は継続して実施される見込みであるが、当面は営業キャッシュフローで対応可能と予想される。利益蓄積に伴う自己資本の増加もあり、財務諸指標は引き続き安定して推移していくとみられる。

（担当）加藤 直樹・大塚 浩芳

■格付対象

発行体：東陽倉庫株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	BBB	安定的

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2019年12月23日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：千種 裕之
主任格付アナリスト：加藤 直樹
3. 評価の前提・等級基準：

評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：

本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「倉庫」(2011年12月7日)として掲載している。
5. 格付関係者：

(発行体・債務者等) 東陽倉庫株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：

本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。

本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。

本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：

JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル